

## 夏の豊橋 一日を

自然あふれる東三河にある豊橋市は南に太平洋、西は三河湾、東は山と接しています。大阪と東京の間という便利なところに位置していますのでどこからでも行きやすいです。そんな豊橋に何があるかと思われた方に、豊橋でどのような一日が過ごせるのかを紹介したいと思います。

まずは朝から海岸へ行きましょう。浜松市の浜名湖から田原市の伊良湖岬の先端まで伸びている表浜海岸を走る自転車道があります。豊橋の伊古部海岸から伊良湖岬の先端まで、自転車で2時間半ぐらいかかります。途中で様々な美しい風景や植物が見られます。例えば、朝早く行ったら弥八島や日出の石門ですごくきれいな



自動車道路から分かれている自転車道

日の出が見えます。道中で疲れたり暑くなったりしたら多数の砂浜の一つで泳いだりして休憩できます。運が良ければアカウミガメを見ることが出来るかもしれません。(カメが産卵するために上陸するときに自然観察会もあります。) 端まで行くと有名な伊良湖岬灯台もあり

ます。戻るのに豊橋鉄道の渥美線に乗って豊橋の街中へ行きましょう。土・日には自転車を持ち込むことができます。

朝早く出発し、昼ごろ豊橋に戻ってきます。サイクリングで疲れたら、暑い夏に良く合うスイカを食べましょう。ラッキーなことに豊橋ではおいしいスイカを栽培しています。豊橋の天伯スイカを食べてさっぱりしてから、昼ご飯は豊橋名物であるカレーうどんを食べましょう。上にうずら卵、底にとろろと白ご飯があります。食べると必ず満足満腹になりますよ。

次は、まだスタミナが残っている方は簡単な登山を！豊橋の東側は山に接していますので登山用のトレールが多くあります。その中に石巻山があります。石巻山の下に昔から立っている石巻神社の「下社」があり、上に奥宮があります。城跡もあり、眺望のい



石巻山

い場所がいくつかあります。ゆっくり神社を冒険したりして、夕方ぐらいに頂上に着くと、日没と豊橋の夜景がきれいに見えます。

午後のもう一つの選択肢は賀茂しょうぶ園で豊橋の夏の花を見ながらのんびりして散歩することです。隣にある賀茂神社も参拝して東三河の歴史を学びましょう。



手筒花火の火柱

その後夜になったら、豊橋の代表的な伝統「手筒花火」を見に行きましょう。夏には手筒花火発祥の吉田神社の夏まつり「祇園祭」で見ることが出来ます。2020年は6月25日～6月28日に行われます。勇ましい豊橋市民が自ら花火を作り、火柱を噴出している花火を持ち、最後に手筒の下部が爆発します。この爆発を「ハネ」といいます。一度は必見ですよ。

暑い夏の日は何よりもビールを飲みたくなる人も多いと思います。1925年から走っている路面電車の中にはビールを好きなだけ飲みながら豊橋を回る「ビール電車」もあります。豊橋の魅力を楽しんだ長い一日をおいしいビール片手に友達と語り合いましょう。